



企業訪問

第10回

西武信用金庫 の巻

【お話を伺った方々】 ■常勤理事 法人推進部長 高橋一朗さん
 法人推進部 街づくり支援 小淵康博さん
 【聞き手】理事長 相馬宏昭 【記事作成】たまり場ぱれっと 吉岡悠真

企業訪問第10回は「西武信用金庫」様(以下、西武信金)です。ぱれっととのつながりだけではなく、様々な社会貢献活動や、進めてきたその経緯、信用金庫という金融組織ならではの考えややり方などを伺いました。

●ぱれっととのつながり

《相馬》西武信金様とは、30年以上の付き合いになりますね。なかでも具体的な関わりとしては、2014年の「まもりんピック(※1)」の開催にあたって、御社より助成金のご寄付を頂きました。その節は、大変お世話になりました。

《高橋》当時、「街づくり活動助成金」の支援を開始して、1回目の年でありました。もともと、それ以前は「環境助成金」という名称で行なっていたのですが、地域の活動は環境だけでなく、教育や子育て、福祉なども含まれることから、後に名称を変更致しました。そういった経緯のなか、当時こちらからお声がけさせて頂いたことを覚えております。

●社会貢献活動

《相馬》活動助成では、ありがとうございました。あれから4年が経ち、現在も支援活動は、続いておられるのですね。

《高橋》街づくり活動助成は、今年で6回目を迎えます。採択先は、ぱれっとさんが関わった第1回が20団体、第2回は21団体、第3回は29団体と、年々増えており、おかげさまで応募件数も増えてきております。支援先は、NPOや株式会社、個人などさまざまです。

《相馬》件数も増えたことで、規模も

年々大きくなっていて驚きました。

《高橋》ももとの発想として、信用金庫は「協同組織」という形態であります。それは、普通の銀行とは異なり、お客様が地域に限定されたり、融資先の企業規模も限定的であったりといくつかの制限があります。そのため、地域の皆さまを応援し、お役に立つ、必要とされる組織でありたいという思いもあって、中小企業支援やNPO等の支援に積極的に取り組んでおります。

《相馬》それが助成金や、融資の支援などで、実際になされているわけですね。

《小淵》融資の面では、CHANGE(チェンジ)という名称のNPO・ソーシャルビジネス成長応援融資を実施しております。おかげさまで現在、新規やリピーター共に、件数も増えてきております。

《相馬》移転並びにグループホーム増設のご融資では大変お世話になりました。

《高橋》信用金庫はもともと、それぞれが少しずつお金を出し合って、困ったときに融通し合おうという考えで始まっていることもあり、その点生い立ちや考え方はNPOと似ておりますね。

《相馬》銀行で一括りに見てしまいがちですが、スタンスが違うのですね。

《高橋》現在は人口減少も進み、地域の

支援も、今や行政だけでは賅えない状況です。そのなかで、NPO 法人等の皆さまが地域のために活動し貢献しています。そこを我々も協力したいと考えます。そのため現在は、企業としての経済活動と地域の皆さんへのご支援は、大切な事業の2本柱としてとらえております。

《相馬》その他に、例えば教育面などでは何かされておりますでしょうか？

《小淵》支店レベルで実施をしております。一例としては、夏休みを使って、子ども向けに職業体験や職場見学、並びにお金の知識に関するゲーム感覚での講座などを開いたこともあります。

障がい者雇用に関しては、金融業界というハードルの高さは感じますが、それでも仕組み作りに取り組む、目指していく、その姿勢が大事だと思っています。

●今後について

《相馬》今年も、西武信金様主催の物産展「極鮮 TOKYO (※2)」が、新宿で開催されますね。

《小淵》はい。今年で12年目を迎えます。福祉関係でも今回、一部出店される団体様がございます。ぱれっとさんの商品も素晴らしいので、今後是非、出店の検討をされてみてはいかがでしょうか？

《相馬》ぜひ参加したいと思います。

《小淵》複数の大学とも連携し、産学連携先の学生の方々にも、販売支援等でご協力頂いております。

《吉岡》学生の方々が協力されるとなると、より活気もあって魅力的ですね。つまり場ぱれっとの余暇活動支援でも、ボランティア募集を日々行なっていて、若い学生の方々の参加や定着は大きな課題です。その点、こういった学生と接点の持てる機会は、とても魅力を感じます。福祉とは畑違いの場で、アピールできるのは、発信力の弱いぱれっとにとって、広く一般の方々に知っていただくいい機会になると思います。

《小淵》なるほど。例えば出店の際、団体のアピールがさらにできるよう、販売だけでなく商品づくりの部分から関わられる、ボランティアプロジェクトみたいなことができるといいかもしれませんね。

《相馬》本格的に、コラボレーションを考えたいですね。実際に海外で、工房ぱれっとの商品を製作過程から見せるパフォーマンスと販売を合わせた出展を実施しました。同様の形態で実現できたら、販売だけではなく活動PRにもなります。

《小淵》新鮮でいいかもしれません。

《相馬》西武信金さんとの関係があるからこそ、このような話ができて大変ありがたいです。今後、さらに御社との関係を築けられればと期待が膨らみます。

《小淵》今後また、学生のインターン等の協力もお願いできればと思います。

《相馬》喜んでお受けいたします。今日は、ありがとうございました。

信用金庫という金融組織だからこその独自の考え方をもち、地域の方々を大切に考え、日々活動されていること、そしてその強い思いを伺って感じました。また、ぱれっとの組織運営や新たな発信に関わるお話も聞けて、大変嬉しかったです。(よしおか)